

全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p>〈成果〉</p> <p>○国語科では、基礎・活用能力がともに向上している。とりわけ、「話すこと・聞くこと」の正答率が全国平均よりもかなり高い。また、漢字を読んだり書いたりすることも得意で、反復練習の習慣が身に付いていることがうかがえる。</p> <p>○算数科では、活用能力が向上しており、活用面ではすべての領域・観点で全国・県平均を上回っている。また、特に本校の課題であった「図形」領域で、正答率が伸びてきており、知識・活用の両面に渡り力を発揮している。</p> <p>〈課題〉</p> <p>▲国語科では、書くことにやや課題が見られ、目的や意図に応じて自分の考えを書いたり話の展開に沿って質問を書いたりすることが若干苦手であるといえる。</p> <p>▲算数科では、数と計算領域・技能の観点で、例えば、小数・分数の計算等(末尾の位のそろっていない小数の加法・整数×分数)で若干の課題が見受けられる。</p>	<p>〈成果〉</p> <p>○学級会活動が充実してきている。話し合っって学級のきまりを決めているという実感や、異なる意見のよさを生かしたり折り合いをつけたりしながら意見をまとめることができるという意識が強い。</p> <p>○家庭学習の習慣が定着してきている。家庭学習の時間が増えており、「宿題をしている」という問いに対して100%の児童が肯定的に回答している。</p> <p>○地域の行事やボランティアに参加している児童が多く、社会的な関心の高さがうかがえる。</p> <p>〈課題〉</p> <p>▲学級みんなで協力して何かをやり遂げる充実感を感じている児童がやや少ない。また、将来の夢や目標をもっている児童も同様である。</p> <p>▲話し合い活動のスキルが徐々に高まってきており、それを生かして、学級の一体感を感じる場面や体験活動の機会を更に充実していくことが課題である。</p>

改 善 策
学 校 で の 取 組

- ①国語科をはじめとするあらゆる学習活動における書くことの重視
 - ・国語科・社会科・算数科・理科を中心として
 - ・条件付き作文
 - ・朝学習での取組(毎週金曜日)
 - ・日記・作文指導
- ②ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「どの子もわかる・できる」授業づくり
 - ・算数科を中心とした校内研修の充実
 - ・「焦点化」による山場のある授業、「共有化」による話し合い活動の充実
 - ・少人数指導の実施による基礎基本の徹底(算数科3～5年生)
 - ・基礎基本の定着(授業時間数の確保と1単位時間内の時間配分・計算ミニテスト・朝学習・放課後学習・パワーアップタイム・家庭学習・学期末の振り返り・さかのぼり学習・間違い直し)
- ③自信や夢を育む体験活動の充実
 - ・特別活動の時間数増加(学級活動を10時間増)、効果的な年間指導計画づくり
 - ・事前・事後活動の充実(計画・スキル+サポート活動+振り返り)
 - ・グループエンカウンターによる学級集団づくり
 - ・個が尊重され、集団が伸びる学級づくり
 - ・帰りの会での認め合いや授業の振り返りの充実(自己肯定感と自信・達成感)
 - ・ペア学年でのサポート活動(学習補助、清掃補助、休み時間の活動)
- ④学習習慣・生活習慣(メディアコントロール力を含む)の確立と読書活動の充実
 - ・学習習慣:「子どもが伸びる家庭学習」「家庭学習の手引き(保護者用・児童用)」・「家庭学習がんばりカード(宿題忘れゼロウィーク)」
 - ・生活習慣:(メディアコントロール力を含む)「早ね!早おき!朝ごはん!金光!!学力アップ大作戦チェック表」
 - ・読書活動:「個人別読書量調べカード」・多読者の表彰・うち読日記(春・秋を中心に)・おすすめの本の紹介

中 学 校 区 で の 取 組

- 中学校の定期試験期間に合わせて家庭学習強化週間(「家庭学習がんばりカード」,「宿題忘れゼロウィーク」)を実施して、学習習慣・読書習慣の確立を図る。
- 生活習慣強化週間「早ね!早おき!朝ごはん!金光!!学力アップ大作戦チェック表」を行い、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の改善・定着を図る。
- 中学校区で統一した目指す子ども像を「将来の夢に向かって、主体的・協働的に取り組むことのできる子ども」として設定し、各校園で共通・連続した取組を計画・実践する。

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

- 「家庭学習がんばりカード(宿題忘れゼロウィーク)」,「早ね!早おき!朝ごはん!金光!!学力アップ大作戦チェック表」の期間中、保護者の方には、毎日カードを点検して、振り返りや励ましをお願いします。学校と家庭が連携して児童の学習習慣・読書習慣、メディアコントロール力の伸長を含めた生活習慣の確立を図ることができるようにと考えています。
- 教科や生活科・総合等の授業のボランティアティーチャーや放課後学習の補助などで、保護者や地域の方々に協力をお願いできればと思います。個に応じた学習支援や児童の安全確保の一層の充実を目指すことで、教育効果を一層高めたいと考えています。